

参考業務シリーズI

展示古書籍紹介 40

昭和61年1月13日～2月6日
大学図書館2階展示ホール

絵巻物 複製版

絵巻物は、巻物に絵を描き、順繰りに展開される場面を、目で見て楽しむものである。一般に、詞書(文章)とそれに対応する絵画が、交互に排列されている。

内容は、物語・戦記物・高僧伝・経典等の絵解き・社寺縁起・年中行事などの儀式の記録など多岐にわたる。

今回は、複製品ではあるが、絵巻物の名品の数々を展示する。

- 1 源氏物語画卷 (山岸文庫)
絵巻三巻 18cm 影印 箱入 国華社 大正四年(1915)刊 付 源氏物語略解 堀鉞之丞編(1冊) 原本 徳川黎明会蔵
本巻は、源氏物語絵巻のうち、詞十六段・絵十五段(蓬生・関屋・絵合・柏木・横笛・竹河・橋姫・早蕨・宿木・東屋)。江戸期、尾張徳川家に、絵巻三巻として伝わり、徳川黎明会の所蔵になったものである。このほか、五島美術館蔵一卷、絵断簡一幅(東京国立博物館蔵)を含めて、国宝に指定されている。
- 2 北野天神縁起 (特殊資料)
絵巻九巻 41cm 影印 小唐櫃入 大塚巧芸社 昭和二年(1927)刊
原本 北野天満宮蔵
京都 北野天満宮の祭神菅原道真が、神として祀られた次第を述べた縁起。巻数は不定。この九巻は、承久年間(1219～1222)に製作されたもので、承久本といわれる。
- 3 粉河寺縁起(こかわでらえんぎ) (山岸文庫)
絵巻一卷 30.4cm 影印 箱入 原本 和歌山粉河寺蔵
紀伊国粉河寺の本尊、千手観音の造立記と靈験記を描いたもの。平安末期から鎌倉初期にかけて製作されたものといわれる。
- 4 [伊勢新名所歌合絵巻] (山岸文庫)
絵巻一卷 31.9cm 影印 箱入 芸術資料刊行会 大正13年(1924)刊 原本 伊勢徳古館蔵
弘安九年(1286)伊勢宇治山田の新名所十景を選んで、伊勢神宮の祭主の館で、歌合を催したという趣向で、風景画と詞章が組み合わされている。土佐隆相筆の画と伝えられる。

- 5 四季艸花絵巻 (特殊資料)
渡辺南岳筆
絵巻二巻 29.7cm 影印 箱入 巧芸社 大正十年(1921)刊
付 別冊解説 原本 旧東京美術学校所蔵
晩年の正岡子規が病床の中で、この絵巻を慰めとして慈しんだ遺愛品。このことは、子規の随筆「病牀六尺」に記されている。
渡辺南岳(1767～1813)は、京都の人、円山応挙に画を学び、美人画を得意とした。文化十年正月二十四日、47才で没す。